



SAFECAST CONFERENCE

 **2015** TOKYO・KORIYAMA
MAR22-24 • MAR25

REGISTRATION: SCC2015.PEATIX.COM

MARCH 22

**SAFECAST SYMPOSIUM
@DIGITAL GARAGE**

DAIKANYAMA DG BLDG., 3-5-7 EBISU MINAMI,
SHIBUYA-KU, TOKYO 150-0022

- » Safecastや日本における放射能測定マップについて知る
- » 日本での活動
- » 国際的なエキスパートによる多様な観点
- » 環境データの収集とシェアにおける国際的イニシアチブへの理解
- » チェルノブイリと福島第一での実際の話
- » 福島の将来に関する討論および議論

MARCH 22

SAFECAST SYMPOSIUM

SCHEDULE

開場: 12:00

セッション 1 : Safecast - 13:00

- ・ オープニング・伊藤 穰一
- ・ Safecast レポート // 食物 // 健康 // 除染
- ・ Safecast パネル // 過去、現在、未来

セッション 2 : 市民による検知 - 14:30

- ・ 測定～個人と家族～・早野 龍五
- ・ 原発を測る: チェルノブイリと福島第一・Joe Moross
- ・ 食物と検知・石丸 偉丈

セッション 3 : Safecast グローバル - 16:00

- ・ 市民による計測～NRDCの視点から～・Matthew McKinzie
- ・ 大気環境の計測およびオープン・ハードウェア・Jo Long & Will Dickson
- ・ GISと開発プロジェクト最新情報・Nick Dolezal
- ・ Art x Science・Joe Paradiso
- ・ Keynote～市民による計測、社会、政府 (Big Government)～・黒川 清

セッション 4 : 市民科学の未来 - 17:00

- ・ パネル: 市民科学の未来・黒川 清, Karien Bezuidenhout, Matthew McKinzie, Joe Paradiso

参加者には一般の方、教育者、ボランティア、研究者、プロジェクト・リーダー、メディア、技術者やその他の専門の方が含まれます。参加される方の分野や専門知識は問いません。カンファレンスはネットワークを広げ、意見を交換し、福島や放射能に関して新しい発見をし、環境データや市民科学を知る最適な機会となるでしょう。

KEYNOTE SPEAKERS



伊藤 穰一

京都府生まれ。日本のベンチャーキャピタリスト、実業家。日本ではデジタルガレージほか多数を起業。2011年9月にMITメディアラボ所長に就任。クリエイティブ・コモンズ議長、Mozilla Foundationボードメンバー。ニューヨーク・タイムズ初の日本人取締役で、SONYの社外取締役も務めている。またNHK Eテレで毎週水曜日に放送されている『スーパープレゼンテーション』のファシリテーターとしても活躍している。



早野 龍五

東京大学大学院理学系研究科教授。専門は、エキゾチック原子の分光による自然界の基本対称性の検証。反物質研究の成果2008年仁科記念賞。2011年3月の東日本大震災以降、原発事故関連のtweetによりフォロワーが15万人に急増。学校給食のセシウム検査の提案、大規模なホールボディカウンターによる内部被ばく状況の解明、幼児用の内部被ばく検査装置BABYSCANの開発、などで知られる。近著に糸井重里氏との共著「知ろうとすること。」がある。



黒川 清

日本の医学者。内閣官房健康・医療戦略室健康・医療戦略参与、特定非営利活動法人日本医療政策機構代表理事。日本学術会議会長 (第22・23代)、内閣特別顧問などを歴任した。また東電福島原発 事故調査委員会 (国会事故調) の委員長も務め、その報告書の序文で「朝河寛一」の言葉を引用している。

SAFECAST
CONFERENCE

2015 TOKYO・KORIYAMA
MAR22-24・MAR25

TICKETS HERE:



[HTTP://SCC2015.PEATIX.COM](http://SCC2015.PEATIX.COM)